

ロシアの戦術核兵器演習開始に抗議する

2024年5月24日
日本原水爆被害者団体協議会

ロシア国防省は21日、ウクライナに隣接するロシア軍の南部軍管区で、戦術核兵器の演習を始めたと発表した。

広島・長崎の被爆者は強く抗議する。

ロシアは昨年、同盟国であるベラルーシへの戦術核兵器を配備している。ウクライナ戦争の終結が見通せない中でのロシアの行為は、米国がNATO諸国に核兵器を配備してきたことを含め、核使用の可能性を高め、世界を核戦争の危機に追い込み、人類の破滅をもたらす誤った戦術に他ならない。

原爆は多くの命を奪い、今なお様々な形で、からだ・くらし・こころに影響を与え続けている。非人道的結末をもたらした核兵器使用の惨禍は、決して繰り返されてはならない。

発効している核兵器禁止条約は、核兵器の開発・実験・製造・備蓄・移譲・使用・威嚇を禁止している。これらの行為は条約への加盟、未加盟にかかわらず国際法に反する違法行為である。

長引く戦争の終結のため、当事国とその支援国は、戦争終結への対話を一刻も早く始めることを、私たち被爆者は強く願う。

核戦争に勝者はいない。戦争に勝者はいない。